

平成30年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

第1学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話すことでは、声の大きさを意識しながら、相手の方を見て、話す児童が増えた。自分の考えを、分かりやすく伝えることが苦手で、表現力に乏しい児童もいる。聞くことでは、相手の目を見て、話を聞くことはできるようになってきたが、話の内容の理解があまい児童がいる。 【話すこと・聞くこと】 ・読むことに意欲的に取り組む児童が多いが、物語文や説明文の内容の読解力には、個人差が見られる。 【読むこと】 ・書くことでは、ひらがなの字形を正しく書いたり、鉛筆の持ち方や筆順に気を付けて文字を書いたりすることが苦手な児童がいる。また、文章を書く時に促音・拗音、濁音・半濁音、「は、を、へ」を正しく使うことが苦手な児童がいる。【言語事項】 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読の課題を通して、正しい文や多くの語彙表現に慣れさせる。話す内容に関しては、話型をノートに書いたり、下書きをノートに書いたりし、自信をもって、話すことに取り組ませるようにする。話は、目と耳と心で聞くということを、継続して指導する。話の内容を理解させるため、視覚的に示したり、内容を少しずつ伝えたりし、理解させるようにする。話の内容を児童の言葉で表す機会もつくり、聞いたことの確認を行っていく。 ・物語文や説明文を取り上げるとき、話の内容を正しくつかめるよう工夫する。例えば、絵や図で視覚的に捉えさせたり、ワークシートで分かりやすくまとめられるようにしたりする。単元のめあてを提示し、学習に見通しをもたせ、意欲を高める。 ・文字指導では、字形に気を付けて書くことができるよう、日々丁寧な指導に心掛ける。「は、を」など助詞の使い方は、プリント等で反復練習をすると共に、音読の際にも意識して読ませるようにする。作文や日記など文章を書く活動においては一文書いたら読み返す習慣を付け、正しい文を書くよう促す。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題において、立式することが難しい。加法になるのか減法になるのかわからなかったり、小さい数から大きな数をひいてしまったりする児童がいる。 【数学的な考え方】 ・10以内の加法や減法の計算は定着している。 【技能】 ・数をまとまりとして捉え、数の構成、大小についておおむね理解している。 【知識・理解】 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や絵を用いて、問題場面を理解させ、立式につなげる。また、実際の場面に置き換えて、問題を提示することで、問題場面を理解させ、立式につなげる。 ・計算カードや計算ドリル、プリントなどを活用して、計算の習熟を高める。 ・数の意味の理解をより深められるように、具体物や半具体物を用いた活動で確実に定着させるようにする。また電子黒板やデジタル教科書等、ICT機器を使って、視覚的に分かりやすく提示する。

<p style="text-align: center;">生 活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あさがおの世話と観察では、自分たちと同じように生きていることが実感できて、水やりや支柱立てを意欲的にできた。一方で、学校の敷地内に、自然や生きものにかかわる場が少ない。 【関心・意欲・態度】 ・観察したことを発表する時やカードに記述する時に、自分の思いや気付きを表現することが難しい児童がみられる。【思考・判断・表現】 ・ICT機器を用いて、自然や生きものを写真や動画・音声で紹介し、イメージを膨らませることができた。【気付き】 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園、移動動物園等を利用し、自然とかかわる場をつくり、体験的な活動を取り入れる。 ・カードを掲示するだけでなく、グループで交流する時間を設け、その後、クラス全体で情報を交流する。友達のよさを見つけられるようにする。併せて、文章表現の仕方を指導する。 ・今後も効果的に、ICT機器を用いて、自然や生きものを写真や動画で紹介し、イメージを膨らませるようにする。【気づき】
<p style="text-align: center;">体 育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や遊びへの関心が高く、進んで楽しく運動や遊びをしようとする児童が多い。 【関心・意欲・態度】 ・決められたルールを守ろうとする児童が多いが、自ら運動や遊び方を考える児童は少ない。 【思考・判断】 ・ボール遊び運動の経験が少なく、片手でボールを投げることができる児童が少ない。基本的な動きや操作が身に付いていない児童がいる。【技能】 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自身がイメージ通りに動かせるように繰り返し指導を行う。また、運動を楽しく行う中で、基本的な体の動きや、各種の運動の基礎となる動きを取り入れ、運動に親しませる。 ・グループ学習や学習カードを使用して、運動や遊びの仕方やルールを工夫していく活動を取り入れる。 ・ボールを投げの機会を増やし、狙ったところへ投げたり、勢いよく投げたりすることを経験しやすいゲームを授業に取り入れる。また、遊びの要素を取り入れながら、体を動かすことの楽しさを実感させる。また、休み時間も児童がすすんで体を動かせるような遊びやゲーム等を紹介したり、運動量を確保した授業展開を工夫したりする。